

「IBMにおけるイノベーションとダイバーシティ」

日 時：平成 22 年 12 月 3 日（金）16:30～18:00

場 所：奈良女子大学理学部会議室（理学部 A 棟 1 階）

テーマ：「IBMにおけるイノベーションとダイバーシティ」

講 師：板倉真由美氏

（日本 IBM 東京基礎研究所サービスリサーチデジタル・エコノミー担当部長 学術博士）

参加者：本学教職員・学生・一般（40 名）



【講演概要】

1990 年代の危機を脱し改革を成し遂げた IBM のイノベーションのしくみとダイバーシティ推進に関するとりくみについてご紹介いただいた。

・ IBM では、世界的問題について有識者が議論・提言する活動（Global Innovation Outlook）や将来を予想して新たなビジネス形態を生み出すための技術戦略（Global Technology Outlook）、市場動向調査（Global Market View）によって、革新的アイデアが上層部のリーダーシップによって生み出され、複合的問題解決が行なわれるようになった。このようなイノベーションのしくみによって、社会にアピールするとともに社員の意識を変化させるということを成し遂げている。

・ ダイバーシティに関して、IBM は機会均等の法令順守・数値目標の達成を重視する段階から、女性などの積極的雇用に努める段階を経て、現在は世界に通用する優れた人材をつくることを目指す段階にあり、自己申告による昇進制度などの様々な職場環境改善の取り組みが行なわれている。重要なことは、女性ばかりでなく男性にとっても働きやすい環境ができるということと、女性を経営意思決定に参加させることをヒューマニズムではなく企業の戦略として行なっているということである。

また最後に、板倉氏ご自身の経験から、本学の教職員・学生に向けて、「これから社会に出る人へ、人生は一度きり、前向きに生きよう」「短期・長期の 2 つの目標を持とう」「近道はない」「男性もまた Key Player である」というメッセージをいただき、女性を優遇するのではなく活用する発想で男女共同参画推進に取り組むことが大事であると述べられた。



講演後に、IBM の具体的な取り組み内容や、イノベーションとダイバーシティとの関係などについての質疑応答が行なわれた。